



共済レポート

発行：自治労連埼玉県本部
電話：048-866-0661
FAX：048-866-1186

自治労連共済を中心とした知って得するマネー情報

自治労連共済第33回実務研修会に参加してきました

10月11～12日、都内で「自治労連共済第33回実務研修会」が開催され、埼玉県本部から各単組で共済実務を担当している書記を中心に11人参加しました。

初日は、基調報告・実務の変更点を中心に学習し、2日目は4つの分科会に分かれて研修が行われました。

自治労連共済はみんなで作る支えあいの制度であり、営利を求めず安い掛金、決算で剰余が出れば契約者に還元するなどの優位性があります。とはいえ民間保険と競合になるのは事実で、民間保険の動向を理解することも重要です。

今回は主に単組役員の皆さん向けに、実務研修会で学んだことを一部ご紹介します。



安定してお金を運用する年金共済にも注目！ <生命保険会社の決算状況から>

最近の金利上昇により、民間保険では一時払円建て終身保険や一時払個人年金保険といった貯蓄型保険（掛け捨てではなく保険料が戻ってくる保険）が好調の一方で、「第三分野」と呼ばれる医療保険や傷害保険、がん保険等では減少しているようです。

iDeCoやNISAといった投資型の商品が注目されていますが、安全性が高い商品のニーズも大きいです。将来の生活に備えるなら、組合員が入れる貯蓄型保険の「年金共済」も注目です。

一時払の保険は契約時に一括して保険料を払い込み運用しますので、余裕資金がないと購入できませんが、年金共済は一時払いではなく毎月コツコツ積み立てていくもの。加入時から1.15%という予定利率を継続的に保障し、配当も連続確保。加入してから最短3年目から元本割れが解消される（脱退時に受け取れる一時金が、掛金の累計を上回る）優位性があり、新規加入が増加しています。

セット共済や火災共済と比較し、年金共済は知られていないので
パンフレットを取り寄せましょう！

火災共済のアピールは 今がチャンス！

<損害保険会社の決算状況から>

民間保険の火災保険部分については、24年3月期まで14年連続で赤字とのこと。自然災害の増加が見込まれることなどを考えると、今後も火災保険料が高くなっていくでしょう。

いまこそ自治労連の火災共済の優位性を
アピールするチャンスです！



対面で話題にできる 「小さな集まり」が効果的！

<生命保険の加入経路から>

生命保険の加入経路では、インターネットやTVが7.7%で、保険会社の営業職員や窓口で加入した人が73.5%と、圧倒的に人的販売（対面販売など顧客とのコミュニケーションを取りながら行うマーケティング）が中心だといえます。

何かにつけて自治労連共済を宣伝して
アピールしながら、単組で共済のこ
とを話題にした「小さな集まり」を企
画していこう！

お金に関する知りたいこと募集中！

自治労連共済以外でも大丈夫です。右のQRコードからメールを送ってください。

